小田原市報
第110号
発行所
小田原市役所
小田原市幸町1の138
編集兼発行人
浦賀松
定価一部三円
交通整印刷所

人口 120,362人
男 59,115人
女 61,247人
世帯 24,353
5月1日現在

市立病院の増築進む

がん治療にコバルト60を設置

＝ベットは二一四床に＝

今回増築・補、改造される病院は、市民の皆さまもご存じ、昨年、天幕でがん以外の新生物の診断上の重要な役割を果たす外来棟の一部と、病室の一部、手術室、レントゲン室、ベッド数の二四床を、本館の一部を改造して、内科、外科、産婦人科、小児科、結核病棟、整形外科、歯科の各病棟

財政事情の公表

33年度下半期

財政再建終る
しかも相当額の黒字を生む
＝推進された建設・福祉事業＝

市では、まる五月一日、昭和三十四年度上半期（四月一日から十月末）の財政事情を公表しました。この財政事情は、昭和二十年一月一日の地方自治法施行以来、毎年、市民の皆様に、その財政の実情を知っていただくために、市の財政状況を明らかにしてきたものであります。

おそくとも、毎年、三月末までに、その年度の財政の実情を公表するのが、例年のならわしでありましたが、今年度は、市の財政の建設事業の推進のために、市の財政の実情を公表することを、三月末日、市議会に報告しました。

おかげで、市の財政は、ようやく、その相当額の黒字を生ずる見込みが、確実となりつつあります。

この、財政再建の成功のもとは、市民の皆様方の、協力の賜であります。

市民の皆様方の、協力のもとに、市の財政の建設事業の推進のために、市の財政の実情を公表することは、市民の皆様方の、協力を、お願いしたいからであります。

また、この財政事情の公表は、条例にもうたわれ、毎年、一回、発表されているものであります。

市財政の動きと収支の概況

一般会計
天守閣の建設費など追加
総額は六千一百万円

十二月の追加

前期繰予算額は、歳出千三百四十五万円でありましたが、その後、三回にわたる追加があり、十二月末までに、歳出千三百八十五万円、歳入千三百八十五万円の追加が行われ、結果、二百四十万円の歳出が行われました。

一般会計

一般会計への繰入金は六千万円（歳計一億二千万円）

＝水道＝

＝特別会計＝

＝財産、市債及び一時借入金の概況＝

＝住民負担の概況＝

＝国保＝

＝療養給付の内容充実に1,100万円を追加＝

＝国保＝

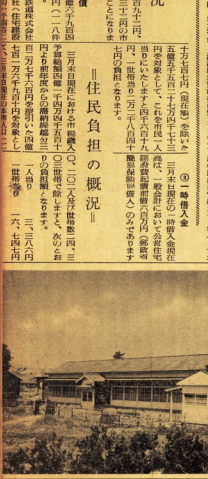
施設＝国保直営診療

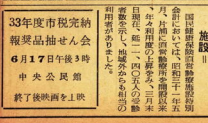
33年度市税完納報奨品抽せん会

6月17日午後3時

中央公民館

終了後映画を上映





＝市立病院＝
増築工事費に二千万円を計上(本年度分)

市立病院拡張計画については、一昨年、二期、三期の病院設置に基づいて、順次、増築工事費を計上されてきたが、一般会計からの繰入金、病院収入、一部負担金、寄附金などの財源の不足のため、本年度分として、新病棟の建設費が次の通り、平方メートル六百二十八円、約二千万円を計上されました。

＝公益質屋＝

公益質屋特別会計において、市民の生活安定、福祉増進のため、市内に質屋の開設を計画されていましたが、本年度分として、新たに、二千万円が計上されました。

なお、本年度分の市内の質屋の開設数は、三カ所を予定しています。

主なる事業
33年度下半期分
(単位千円)

◇新病棟(鉄筋コンクリート造)　延床面積　六百二十八平方メートル　概算　二千万円

◇市立病院敷地造成工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う道路改修工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う水道工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う電気工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う電話工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う下水道工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う道路改修工事　一式　一千万円

◇市立病院敷地造成工事に伴う公園

酒匂川左岸農業水利改良事業が完成

総工費は1億5千万円

酒匂川左岸農業利用高度事業は、昭和三十年度から、酒匂川左岸農業水利改良事業として、上府、下府、千代の三地区の水田の用水の確保と、排水の改良を目的として、県の補助を受けて、上府地区の用水路の改修、千代地区の用水路の改修、上府地区の排水路の改修、千代地区の排水路の改修